

3学年通信

尾道市立高西中学校
3学年通信第9号
令和2年6月4日

学校、再開！！～少しの不自由を最大限の思いやりで～

6月に入り、「新しい生活様式」での学校生活がスタートしました。休校中の最後の登校日と1日の1時間目に、「なぜ、今、新しい生活様式で過ごす必要があるのか」について考える時間を持ち、高西中学校版の新しい生活様式の確認をみんなで行いました。生徒会執行部による動画を休校中に見た人も多くいることと思います。なぜ、繰り返し伝え、考える時間を設定したのか、分かりますか？「新しい生活様式」の必要性について、ひとりひとり、地域や学校というたくさんの人たちの中で生きている一人として、自分自身に置き換えて考えてほしいと思ったからです。

未だ治療薬がなく、目にみえないウイルス、それが新型コロナウイルスです。無症状であっても罹患していることがあり、無自覚のうちに広めてしまう可能性もある恐ろしいウイルスです。完全に終息するには2年かかるという専門家の方もいます。

「withコロナ」という言葉を最近聞くこともあると思いますが、コロナウイルスとの闘いは長丁場になりそうです。そこに大きな不安を抱えている人もたくさんいます。

さて、みなさんの今の過ごし方は「新しい生活様式」に則った生活ですか？例えば登下校中。「熱中症対策のために必ずしもマスクは着用しなくてもよい」ということになっていますが、周囲の人と適切な距離をとっていますか？

心配だからと暑くてもマスクを外せない人もいます。コロナウイルスにかかることが心配でたまらない中、学校に登校している人もいます。地域の中には罹患すると重症になりやすいとされる高齢者の方がたくさんいます。感染することを心配している人もたくさんいると思います。みなさんが距離もとらずに「密」といえる状態で登校する姿は、その人たちにどのように映っているのでしょうか。そのような不安と闘いながら日々生活をしている人たちへ「思いやり」を向けることはできませんか。治療薬がない現状では、コロナウイルス感染防止はひとりひとりの意識にか

かっています。だからこそ、「少しの不自由を最大限の思いやり」で我慢してほしいのです。それがいつまで続くかは誰にも分かりません。でも、先にある「日常」を信じて、今は「新しい生活様式」に則った生活をするのでしかコロナウイルス感染防止はできないのです。

学校の中でも、友だちとくっついてじゃれあう姿を見かけます。久しぶりに会えた仲間たち、久しぶりの日常一気持ちは高ぶるのは分かります。みんなと会えてうれしい気持ちは私たちも一緒です。でも、その行動が「もしかしたらコロナウイルス感染につながるかもしれない」という可能性を持っていることを考えてほしいのです。

「可能性がある」状態をつくらずにできるだけ安心・安全な環境の中で、学校生活を送れるようにするためには、みなさん自身の「意識」が大切です。自分自身の行動に自分自身で「自覚」と「責任」を持って、「周りの人への思いやり」の気持ちで過ごしていきましょう。

最高学年である3年生のみなさんの行動から変わっていくことを期待しています。ぜひ、他学年のお手本となる行動を見せてください。

【保護者のみなさまへ】

6月に入り、学校が再開しました。久しぶりに元気な子どもたちの姿に会えて、私たちが元気をもらい、また進路実現のためにしっかりと力をつけていきたいという思いを新たにしております。

コロナウイルス感染防止のために、「密」な状態をつくらずに安心・安全な環境を整えるために、日々考えて取り組んでいきます。今後も子どもたちの心身の状態や学校の状況、または社会の状況によって、これからも変更することが多々あると思いますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。ご家庭でも、「新しい生活様式」での過ごし方についてお話いただければと思います。

また、ご不明な点や、ご心配な点がありましたら、学校までご連絡いただければと思っております。よろしくお願いいたします。